

環境試料中の放射能測定結果（2012年11月分）

2012年11月30日までに取りまとめたセシウム134及びセシウム137の測定結果は以下のとおりです。

なお、11月までのモニタリングステーション等にて計測されている空間放射線量率にも異常は認められておりません。

試料名	採取地点	採取年月日	単位	¹³⁴ Cs (セシウム134)	¹³⁷ Cs (セシウム137)	基準値等 ^{*1} に対する割合
降下じん	再処理敷地内 露場	2012. 8. 31～ 2012. 9. 28	Bq/m ²	ND	ND	
湖底土 ^{*2}	尾駸沼	2012. 10. 23	Bq/kg乾	ND	5	
牛乳 (原乳)	二又	2012. 10. 2	Bq/l	ND	ND	—
	豊原	2012. 10. 2		ND	ND	—
	六原	2012. 10. 2		ND	ND	—
	睦栄	2012. 10. 2		ND	ND	—
葉菜 (ハクサイ)	千樽	2012. 10. 30	Bq/kg生	ND	ND	—
淡水産物 (ワカサギ)	尾駸沼	2012. 10. 9		ND	ND	—
海底土	放出口 付近	2012. 10. 10	Bq/kg乾	ND	ND	
	放出口 東1km地点	2012. 10. 10		ND	ND	
	放出口 西1km地点	2012. 10. 10		ND	ND	
	放出口 南1km地点	2012. 10. 10		ND	ND	
	放出口 北1km地点	2012. 10. 10		ND	ND	
	放出口 南3km地点	2012. 10. 10		ND	ND	
	放出口 北3km地点	2012. 10. 10		ND	ND	
	物見崎沖	2012. 10. 10		ND	ND	
魚類 (ヒラメ)	六ヶ所村 前面海域	2012. 10. 18	Bq/kg生	ND	ND	—
貝類 (ムサシヤクガイ)	六ヶ所村 前面海域	2012. 10. 3		ND	ND	—

— : セシウム134およびセシウム137の測定値が定量下限値未満の場合記載。

△ : セシウム134およびセシウム137に係る基準値等が定められていない試料。

Bq : 放射能の単位。1 Bq (ベクレル) は、1秒間に1個の放射性核種が壊れて別の物になること。

ND : 定量下限値未満を示す。定量下限値とは、分析の測定条件や測定精度を一定の水準を保つことを目的に、正確に測ることのできる下限の値をいいます。

※1 : セシウム134及びセシウム137に係る基準値等

食品衛生法の基準値 (牛乳・乳製品) (セシウム134+セシウム137) : 50Bq/kg (2012年4月1日設定)

食品衛生法の基準値 (一般食品) (セシウム134+セシウム137) : 100Bq/kg (2012年4月1日設定)

※2 : 湖底土中セシウム137の測定値は、東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故以前の測定値と同じ水準であることから、過去の大気圏内核実験等に起因するものと考えられる。

環境試料中の放射性核種の定量下限値

試料	単位	¹³⁴ Cs (セシウム134)	¹³⁷ Cs (セシウム137)
大気浮遊じん	mBq/m ³	0.02	0.02
降下じん	Bq/m ²	0.2	0.2
河川水	mBq/ℓ	6	6
湖沼水	mBq/ℓ	6	6
水道水	mBq/ℓ	6	6
井戸水	mBq/ℓ	6	6
河底土	Bq/kg乾	3	3
湖底土	Bq/kg乾	4	4
表土	Bq/kg乾	3	3
牛乳(原乳)	Bq/ℓ	0.4	0.4
農産物	Bq/kg生	0.4	0.4
淡水産物(ワカサギ)	Bq/kg生	0.4	0.4
海水	mBq/ℓ	6	6
海底土	Bq/kg乾	3	3
海産物	Bq/kg生	0.4	0.4